

天皇社の杖さくら(松垣本)

松垣本に、天皇社という社がある。

これは、後醍醐天皇が、延元三年(一三三八)三月、八幡宮に御礼拝になったとき、ここに行在所がもつけられたところだ、それをもとにして、後醍醐天皇を祭神として創建されたのが、この神社だといわれている。

その社殿のかたわらに、古い大きなさくらの木がある。

これは、このとき天皇がたすふえしていられたさくらの杖を、土にたてられたところだ、それが芽をふいて成育したものだといえられ、今に杖さくらと呼ばれている。

